

【基本方針】

「ご利用者やご家族が安心して利用できるデイサービスにする」

【年間目標】

- ① 感染症や災害時にご利用者に不安感を与えず、誠実な事業所運営を目指す
- ② 地域との連携を強化し、包括ケアを推進する
- ③ 自立支援・重度化防止を意識した生活支援の提供
- ④ 業務の生産性の向上と、働きやすい環境の整備
- ⑤ 高齢者虐待防止を意識し、丁寧な支援により不適切ケアを防止する

【実践報告】

- ① 感染症や災害時にご利用者に不安感を与えず、誠実な事業所運営を目指す
    - ・新興感染症等の発生状況等を迅速に伝達し、取組の報告を実施。
    - ・BCP等災害訓練時には、積極的な参画を行えた。
  - ② 地域との連携を強化し、包括ケアを推進する
    - ・ICT ツールを利用した迅速な連携、様々なサービス事業所への情報提供を積極的に行えた。
  - ③ 自立支援・重度化防止を意識した生活支援の提供
    - ・LIFE フィードバックデータの活用を推進
    - ・動的レクリエーションを活用した心身機能の維持向上を意識する事ができた。
  - ④ 業務の生産性の向上と、働きやすい環境の整備
    - ・毎月の勉強会等開催し、職員の意識向上を図るも、参加率等やや低迷する。
    - ・次年度は、介護力の向上にフォーカスし、興味あるものを実践していく事とする。
  - ⑤ 高齢者虐待防止を意識し、丁寧な支援により不適切ケアを防止する
    - ・本年度は声かけ方法、丁寧語の遵守をフォーカスし不適切ケア予防の実践を心がけた。不十分な部分はあるものの、丁寧語を常用的に使用できる職員が増えた。
- 稼働向上取組
- ・事業所の強みをより一層強化（幅広い顧客ニーズの達成受入）弱みの改善（大規模事業所による細やかな対応が不足）を行い、定期的な広報により発信  
→定期的に実践する事で新規利用者獲得を効果的に実践する事ができた。
- 稼働目標
- ・令和4年度1月時点での平均稼働率72.6%。令和5年度は78.0%を平均稼働目標とする  
→年累計稼働率 最高74.9% 最低71.8 目標稼働率には至る事が出来なかった。

【行政機関への事故報告】

0件

【苦情件数】

0件